
ACMS シリーズ、全銀 EDI システムとの接続テストを完了、セキュアな連携を実証 ～全銀 EDI システムに対応した B2B サーバ「ACMS B2B」・ EDI クライアントソフトウェア「ACMS Lite Neo」最新版発売～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、B2B サーバ「ACMS B2B」と EDI クライアントソフトウェア「ACMS Lite Neo」が、会計・経理業務などを効率化する全銀 EDI システム（以下、ZEDI）との接続テストを完了、セキュアに連携できることが実証されたことをお知らせ致します。

ZEDI に対応した「ACMS Lite Neo」の最新版バージョン 2.0 を 2018 年 7 月 31 日に発売、「ACMS B2B」と動作環境を Windows に限定した「ACMS B2B Limited Edition」の最新版バージョン 5.0 は 2018 年 8 月 31 日に発売します。

ZEDI は、日本の企業間送金に係る総合振込などの電文を、固定長から XML 電文に移行し、金融 EDI の高度化に向けた取り組みを進めて行くためのプラットフォームで、支払企業、仕向銀行、被仕向銀行、受取企業の間での送金と商流情報（金融 EDI 情報）を中継するシステムの役割を果たします。具体的には、XML 電文に移行されることで支払企業が総合振込に商流情報を付加して送信でき、受取企業がその商流情報をもとに売掛金の消込作業の効率化が図れます。

ACMS シリーズは、ZEDI 連携に必要な XML 電文の作成・変換機能と通信プロトコル JX 手順、企業認証用のクライアント証明書取得・更新機能、業務フロー管理機能などを提供し各企業での ZEDI 対応を容易にします。また、ワンパッケージで金融 EDI と商流 EDI を統合管理できることから、EDI 業務の一層の効率化、運用コストの削減を図ります。今回、ZEDI と ACMS シリーズとの接続テストにおいて、支払企業の業務である総合振込依頼、受取企業の業務である振込入金通知と入金取引明細データの送受信が問題なく行えることを確認しました。

最新版 ACMS シリーズの主な新機能は以下の通りで、この機能を利用するには ZEDI 連携機能オプションが必要です。

① ZEDI 業務フロー管理機能

総合振込、振込入金通知、入金取引明細の ZEDI 一括ファイル伝送（JX 手順を利用）において、金融機関毎に業務管理を行うことが可能です。

② XML 電文の作成・変換機能

支払企業や受取企業での XML 電文の作成・変換機能を提供します。固定長や CSV などのデータ形式と XML 電文の相互変換が可能です。

- ・ 作成した XML 電文のスキーマによる妥当性検証機能

XML 電文を、XML スキーマを使ってチェックし、データの正確性を担保します。

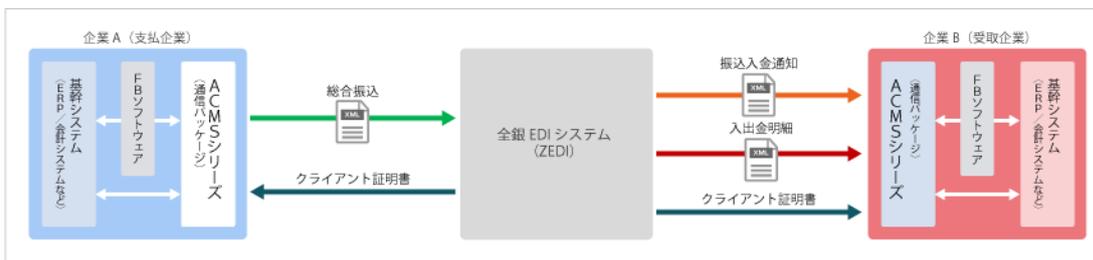
- ・ サンプル定義テンプレートを提供

固定長や CSV と XML 形式の相互変換のサンプル定義を提供しているため、既存の会計ソフトウェアや ERP などのアプリケーションとの連携も容易です。

③ クライアント証明書管理機能

ZEDI ではセキュアなシステム運用のため接続時にはクライアント証明書の交換が必要です。これは ZEDI 利用企業を認証するためのもので、ZEDI 仕様に従って初期取得と定期的な（約 2 年毎）更新が必要になります。ACMS シリーズはその取得や更新管理を一手に引き受けるため、取得のための仕様を意識することなく業務に専念できます。

【ZEDI 利用における「ACMS シリーズ」活用イメージ】



DAL は、ZEDI のサービス開始に伴い、ビジネス・パートナーとの協業を強化し、更に積極的に ERP や会計ソフトウェアなどのアプリケーション・パッケージ・ベンダーとの協業も推進、サービス事業者への導入も順次展開していきます。

以上

<価格> (税別、単位：千円)

製品	エディションなど	オプション/パッケージ	価格
ACMS B2B		ZEDI 連携機能オプション	800
ACMS B2B LE		ZEDI 連携機能オプション	400
ACMS Lite Neo	クライアント OS 版	ZEDI 連携パッケージ	180
		ZEDI 連携機能オプション	60
ACMS Lite Neo	サーバ OS 版	ZEDI 連携パッケージ	480
		ZEDI 連携機能オプション	240

※ ZEDI 連携機能オプションご利用には、別途基本機能や JX 手順などが必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

【全銀 EDI システム (ZEDI) について】

全銀 EDI システムの詳細については、以下一般社団法人全国銀行協会の Web サイトをご参照ください。

<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】

DAL は、1992 年に最初の UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI (電子データ交換) を中心にシステム連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェアを自社開発し、国産ソフトウェアベンダとして EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立。2007 年 4 月にジャスダックに上場しました (JASDAQ : 3848)。

DAL の「ACMS (Advanced Communication Management System) シリーズ」は、国内 72 社のビジネス・パートナーを経由して販売され、すでに 2200 社 10000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」をはじめ、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築できる B2B サーバ「ACMS B2B」、企業内外のデータ連携を行う B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E2X」など、システム規模・接続ニーズに応じた製品ラインアップを揃えています。また、システム連携では不可欠なデータのフォーマットや文字コードの変換・加工を行うデータハンドリングプラットフォーム「RACCOON」を 2014 年 3 月から提供しています。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。